

## 外来化学療法室移転のご案内

このたび昨年の12月に南棟二階に外来化学療法室が移転いたしましたので、ご紹介いたします。最近の抗がん剤治療は通院治療が主体となってきていますが、外来化学療法室ではそのような長時間かかる治療をできるだけ快適に、また安全に受けただけできるようにと設置しています。当院では2005年7月に中央処置室の一角を改装し8床で外来化学療法室を開設し、2008年9月からは12床に拡張しておりましたが、それでも手狭となり、今回は24床と東海地区でも指折りの規模に拡張しました。

新しい外来化学療法室は、南棟二階の健康管理部の奥にある日当たりの良い場所です。入って受付までの間に待合があり癌に関する情報が閲覧できるようなスペースも配しています。中庭側にチェアタイプの5床とベッドタイプ5床、南側にチェアタイプの5床とベッドタイプ9床を配置しています。奥には診察室を用意し、外来化学療法室でも診察が行えるように準備しています。さらに今後幅広いニーズにこたえていくために、診察室を利用して薬剤師による服薬指導や、栄養士による栄養指導などにも取り組んでいければと考えています。また、体が不自由な方でも使いやすいよう広めのスペースの多目的トイレをご用意しております。外来化学療法室の中には、抗がん剤の調整をする安全キャビネットを二台設置した調整室もあります。ここには薬剤師が常駐し、診察の後医師の指示を受けて抗がん剤を直ちに調製し、速やかに安全に開始できるように心がけています。

それぞれのベッドはプライバシーが保てるようカーテンで区切られています。各ベッドではテレビを視聴できるようになっています。できるだけ快適にすごしていただける様、部屋の色調ほゆったりとりラックスできるような柔らかいものを選び、窓のカーテンも自然光が取り入れられるようにロールカーテンを半透明なタイプと遮光のタイプのダブルにしました。空調は独立して行い、各治療スペースで空気が入れ替わるように工夫しており、またBGMやアロマなども取り入れています。スタッフは3月現在、医師のほか看護師4名、事務1

名で治療に当たっております。

4月以降は、リウマチの治療や骨転移に用いる薬など抗がん剤以外でも外来化学療法室を利用して治療できるように予定しています。利用して頂かずに済んだほうが良い施設ですが、地域の皆様に親しまれ、信頼され、期待される部署作りに心がけていますので、万一の際には安心してご利用ください。よろしくお願いいたします。

がん診療部化学療法室長 呼吸器・アレルギー内科部長 木村智樹

No.64 2010.4.1 発行 編集：教育・広報活動委員会